

ドミニク・モリエール  
アランド市長

意思表示、行動、平和の美的思考をよしとする方法。これは私たちの使命でしょう。

今日ニューヨークにいる私たちの存在は、新しい平和な「核兵器のない世界」という願いの力強い象徴です。

私たちの存在は数の重さや関わり合いの強さによって、人間らしさをもっと尊重した別の地球規模の結末を作るという意思を示します。

私たちすべての存在は平和への道をつなぐのに極めて重要な若い人々のメッセージを発信しています。

若者たちはこの問題に必要な不可欠な部分や理想主義的な行動をもたらします。

トリスタンのご存知のとおり青年です。

学生であり、航海が大好きで、最近の学生ヨットワールドカップでは船長です。

平和市長協会において、人々に共有の平和の文化という考えを広げています。

それではトリスタンに代ります。

モリエール市長、ありがとうございます。

私の名前はトリスタン、22歳。美しい国ですが、核兵器保有国であるフランスに住んでいて私は幸せです。

私は核兵器が暴力を抑制させ、平和を保障するという曖昧な定義を知っています。同時に核拡散が人類の大きな脅威であることも。

私たちは過去の世紀に起きた2つの世界大戦を経験し、1945年、核爆弾の破壊的な影響を知りました。

学校で年配の人たちが教えてくれました。私はどんな戦争も知らず、ほとんど不自由することもなく幸運です。

私はただの青年ですが、国を率いている人たちの言っていることとやっていることのギャップが気がかりです。

今日、私たちはそれぞれ多くの機会があると同時に自分ではどうすることもできない異なる社会に生きています。

この世界が過度にメディアに委ねられ、多様な孤独を写しています。

私たちはひとつになって、私たちの価値に有利に作用する必要があります。私たちは平穏に暮らすための手段を手に入れなければなりません。

どんな形であれ、脅迫は解決にはなりません。対話で物事を進ませることができ、紛争の歯止めとなります。

私たちの世界は私たちのたたかいかかっています。核兵器競争に特例はありません。競争の概念を再検討することは緊急です。コスト面で競争するのではなく、最良を競うということです。

私たちそれぞれの人類愛をもたらす価値観の競争です。人にはそれぞれ異なる歴史や文化があるけれども、また、違いを薄れさせる、みんなが持つ共通した類似点もあります。

このグローバル化した環境では、個々人を偏見がなく、人に敬意を払い、忍耐強くさせます。

従って、違いを発展的な意味に捉えて、ばらばらよりも地域での活動でつながりをつくっていくことが大切です。

この目標において、世界中の若者たちと協力して、一緒に違いを受け入れる宣言、共有すべき価値の文章を書きたいと思います。

戦争やあらゆる種類の紛争、核兵器は人々の争いに力を発揮するものと言わせないための宣言を。

ありがとうございました。